

●会期:9月23日(水・祝)～28日(月)

日本藝術院賞受賞記念
色絵磁器 山岸 大成 展〈陶芸〉



金沢美術工芸大学工芸科卒業。
オリジナルの釉薬により生まれる
瑞々しい色彩による花鳥をモチー
フとした作品のほか、「神々の座」
をテーマにした白磁のオブジェな
ど、九谷焼の伝統を受け継ぎな
がらさらなる開拓と発展の表現
が認められ、日本藝術院賞を受
賞されました。記念となる今展で
は多彩な作品を一堂に展観い
たします。

「色絵牡丹富貴方壺」
14×14×高さ40cm

浅野 忠 展 — 悠久の空 — 〈日本画〉

日本各地で取材され
た魅力溢れる原風景
を独自の視点で捉え、
時代が変わらずにあり
続ける空の壮大さを
織り交ぜて表現され
た20余点を一堂に
展観いたします。美し
い煌めきとして記憶に
残す新作の数々をこ
の機会にぜひご覧
ください。



「月山」31.8×41.0cm(6号F) 紙本彩色

10月の予告

●会期:9月30日(水)～10月5日(月)

NIHONGA ○ -en- 同心円 〈日本画〉/
土岐 千尋 展〈木工〉

●会期:10月7日(水)～12日(月・祝)

千々岩 修 展 〈日本画〉/岡田 泰・田原 崇雄 展 〈陶芸〉

●会期:10月14日(水)～19日(月)

伊藤 北斗 展 〈陶芸〉/渡辺 香奈展 〈洋画〉

●会期:10月21日(水)～26日(月)

大樋焼開窯360年・日本藝術院会員就任記念
十一代 大樋 長左衛門 展 〈陶芸〉

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

9月

September 2026



森田りえ子「遊蝶花」33.3×45.5cm(8号P) 紙本彩色

●会期:9月16日(水)～21日(月・祝)

第40回 青澁会 — 標 — 〈日本画〉

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:9月2日(水)～7日(月)

岡田 高弘 展

— 記憶に刻まれた 色と形 —〈洋画〉

1959年東京都出身。1984年東京藝術大学大学院後期博士課程を修了。1999年に共同アトリエ「ATELIER21」を横浜に開設。現在、白日会常任委員を務め、個展、グループ展へも精力的に発表されています。今展では、季節の花、訪れた異国の風景、人物像等それぞれのモチーフにある存在と空間を記憶として受けとめ、作家独自の目線にて彩られ紡ぎあげられた大作から小品を一堂に展覧いたします。

「夏の記憶II」

41.0×31.8cm(6号F)キャンバス・油彩



丹羽 シゲユキ 展

ほうしょうずいか
— 萌咲瑞華 —〈陶芸〉



白磁削鋳手蓮弁菓子器「華萌咲」
23.6×22.3×高さ7.9cm

1978年北海道札幌市生まれ。2003年京都精華大学大学院芸術研究科造形専攻陶芸コースを修了されました。風にゆれるような柔らかな曲線による造形は瑞々しく広がる空間を生み出していくようです。白磁のほか、近年始められたカラーの作品も発表いたします。横浜高島屋での初個展となります。

●会期:9月9日(水)～14日(月)

第15回 ガラス工芸作家 国の「現代の名工」 黒木 国昭 展 〈硝子〉

1945年宮崎県生まれ。1991年国の卓越技能者「現代の名工」を受賞。ガラス作品の中に日本の美を表現した黒木先生の作品は海外でも高く評価されています。「綾切子」や様々な装飾が施された華麗なるガラスの世界をどうぞご高覧ください。

新世紀ロマン 花器 金・プラチナ彩
「鳳凰」～瑞鳥の舞～ 25.6×高さ44.3cm



●会期:9月9日(水)～14日(月)

Connectives

— つながりの紡ぎ方 —〈現代アート〉

「Connectives(コネクティヴス)」は、「接続詞」を意味します。言葉と言葉を繋ぎ、個々の存在を孤立させず、一つの大きな物語へと誘う重要な役割を含めています。本展では、様々なジャンルによる作品を通じ、私たちが知らず知らずのうちに手放してしまった、あるいは新しく見出しつつある「つながり」を平面・立体作品を通して問い直します。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

大谷 陽一郎・久野 彩子・栗原 莞爾・末松 由華利・
五月女 晴佳・高橋 橋・田中 武・村本 真吾

【部分・拡大】大谷 陽一郎「ki/u #139」60.6×72.7cm(20号)ミクストメディア・キャンバス



●会期:9月16日(水)～21日(月・祝)

第40回 青渚会 — 標 —〈日本画〉



森田りえ子「遊蝶花」
33.3×45.5cm(8号P)紙本彩色

故・大山忠作先生によって命名された「青渚会」は、世代、会派を越え日本画壇を牽引する作家から新進気鋭の作家による新作を一堂に介する展覧会として、横浜店にて歴史を育み今展で最終回を迎えます。青渚会として成熟し、互いを尊重しつつ美の真髄を洗練させてきたことでこそ成しえた、標としての集大成を、この機会にぜひご高覧ください。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

岡 信孝・奥村 美佳・小田野 尚之・川島 睦郎・川嶋 渉・竹内 浩一・
土屋 禮一・牧 進・森田 りえ子・森本 純・山田 伸 (特別出品 松本 勝)

— 種子島 宿る品格 — 池田 省吾 陶展

1976年鹿児島県出身。有田窯業大学卒業後、種子島にて独立。種子島の土を使い遊び心溢れる織部作品と古色を用いた牧歌的でのびやかな絵付けが特徴です。今展でも茶碗、酒器、食器などを一堂に展覧します。

※初日の販売方法について、詳しくは
横浜高島屋ホームページをご確認ください。



「粉引竹林壺」30×高さ25cm